

社会

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

<input type="checkbox"/> 知識及び技能	<input type="checkbox"/> 思考力、判断力、表現力など
人々の生活への理解を深め、社会的事象について調べまとめること。	考えたことや選択・判断したことを説明したり議論したりすること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	<input type="checkbox"/> 地域の様子や移り変わりについて、資料を適切に選び、調べることが苦手である。 <input type="checkbox"/> 学習したことを基に、地域とどのように関わっていくかを考えるまでには至らない。	<input type="checkbox"/> 地域の様子や移り変わりを具体的に調べるために、調査活動のほか、地図帳や地域の平面地図、立体地図、写真、実物などの具体的資料を活用する。 <input type="checkbox"/> 地域との関わり方を考えるために、自分自身で地域や生活における課題を見だし、解決するための話し合い活動を行う。	<input type="checkbox"/> 年間を通して <input type="checkbox"/> 年間を通して	<input type="checkbox"/> 児童に提示する資料を精査したことで、必要な情報を的確に読み取れるようになってきた。 <input type="checkbox"/> 日頃の生活場面を想起しながら、解決への糸口を探っていったことで、自分の考えをもつことができるようになってきた。
第4学年	<input type="checkbox"/> 社会的事象について、必要な情報を的確に読み取り、まとめることが苦手である。 <input type="checkbox"/> 学習したことを自分事と捉え、社会への関わり方について考える力が十分に身に付いていない。	<input type="checkbox"/> 都道府県の地理的環境の特色などを読み取るために、調査活動や具体的資料を通して調べ、白地図や年表、新聞にまとめるようにする。 <input type="checkbox"/> 社会への関わり方について考えるために、単元のまとめで文章で記述したり、資料などを用いて説明したり話し合ったりする。	<input type="checkbox"/> 年間を通して <input type="checkbox"/> 年間を通して	<input type="checkbox"/> 教科書や地図帳などの資料から必要な情報を的確に読み取れるようになってきた。 <input type="checkbox"/> 社会生活を営む上で、自分たちでできることを考えたり、選択したりできるようになってきた。
第5学年	<input type="checkbox"/> 社会的事象について、課題や特徴を読み解く力が十分に身に付いていない。 <input type="checkbox"/> 社会的事象に対して、自分の言葉でまとめることが苦手である。	<input type="checkbox"/> 産業や国民生活に関わる資料を読み取るために、地図帳や地球儀、統計などの各種の基本的資料を複数活用し、調査内容を全体で共有する。 <input type="checkbox"/> 社会的事象から考えたことを表現するために、資料などを用いて説明したり、根拠や理由などを明確にして議論したりする。	<input type="checkbox"/> 年間を通して <input type="checkbox"/> 年間を通して	<input type="checkbox"/> 資料について、意図的に着目する部分を示すことで、課題や特徴を読み解くことができてきた。 <input type="checkbox"/> 資料を用いて社会的事象について分かったことを説明できるようになってきた。複数の社会的事象を関連付けたり、多角的に考えたりする力を伸ばしていく必要がある。
第6学年	<input type="checkbox"/> 複数の資料を関連付けながら読み取り、まとめることが難しい。 <input type="checkbox"/> 社会的事象を多角的に捉え、説明したり話し合ったりする力が十分に身に付いていない。	<input type="checkbox"/> 社会的事象を関連付けながら捉えていくために、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を複数活用して、読み取る活動をする。 <input type="checkbox"/> 社会的事象を多角的に考えるために、複数の立場や意見を踏まえて考えたり、社会における課題を見いだしたりして、議論する。	<input type="checkbox"/> 年間を通して <input type="checkbox"/> 年間を通して	<input type="checkbox"/> 複数の資料を活用し、読み取った情報をウェビングなどの思考ツールを活用しながら関連や結びつけを見つけ、整理する力が付いてきた。 <input type="checkbox"/> 事象について、異なる視点から考えを出し合うことで、ものの見方一つではないことに気付き、自分の意見をもつことにつながった。

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末などICTの効果的な活用について

【全学年】

＜指導の個別化＞

・デジタル教科書、学習動画、検索機能、デジタルノートなどから自分に合った方法を選び理解を深める。

＜学習の個性化＞

・自分で設定した課題について、検索機能、学習動画を活用してものの見方を深めたり広げたりする。

＜協働的な学び＞

・調べたことを共有機能、スライド機能、共同編集機能、コメント機能を活用して交流し、よりよい考えを生み出す。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫など、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

【3年～6年】

＜学習の流れを明確にする＞

社会的事象との出会い⇒学習問題⇒予想する（既習の知識を基に）
⇒学習計画を立てる⇒調べる⇒まとめる⇒自分なりの考え（答え）をもつ